

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立和庄中学校
(和庄中学校区)

全国平均値との差（英語については、「話すこと」調査を除く）

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	+4.2<+2.0>	0<+2.0>	-2.6
令和4年度	-2.0<+1.0>	+0.6<+1.0>	—

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 74.0 % 全国 69.8 % 県 70.0 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみることに課題がある。(設問4三)【読むこと】平均正答率47.0%) ◇自分の考えが伝わるように文章を整えて書くことに課題がある。【書くこと】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎誤答のうち24.1%が、文章中の表現を取り上げて書くことはできているが、どのように工夫されていると考えられるかを書くことができていなかった。よって、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える時間を設定する。 ◇相手意識・目的意識のある文章を原文に正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にする活動を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力テスト(設問4三)(第2~3学年、2月)目標60%→結果0% ◇小学校;全国学力(設問1二)の類似問題(第5~6学年、2月)目標60%→結果0% 中学校;全国学力(3一)の類似問題(第2~3学年、2月)目標70%→結果0%</p>
<p>数学</p> <p>本校 51.0 % 全国 51.0 % 県 49.0 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎ある事柄が成り立つことを、構想に基づいて証明することに課題がある。(設問9(1)【図形】平均正答率28.9%) (全国平均との差 -3.2) ◇事柄が成り立つことを図形の性質に関連付け、数学的な表現を用いた理由の説明に課題がある。【図形】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎図形の性質を考察する場面において、予想した事柄について成り立つ理由を筋道を立てて考えたり、説明したりする活動を設定する。 ◇複数の情報が提示された問題から、必要な情報を取り出し、問題を解決させる学習を繰り返し行わせる。その際、筋道を立てて考えたり、説明したりできるように書き込みや図・言葉による表現をさせる。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問9(1)(2))の類似問題(第2学年2月 第3学年1月)目標50%→結果0% 小学校;全国学力(設問2(4))の類似問題(第5~6学年、2月)目標60%→結果0%</p>
<p>英語</p> <p>本校 43.0 % 全国 45.6 % 県 43.0 %</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えとその理由を書いたり話したりすることに課題がある。 (設問8(2) 正答率15.7% 無解答率31.3% 全国平均との差-3.8%) (話すこと設問2 正答率0.0% 無解答率21.6% 全国平均との差-4.2%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎◇身近な話題だけでなく、環境問題や人権問題など社会的な話題について読む機会を定期的にもつとともに、スモールトークやライティング活動の際に、賛否や自分の考えを理由とともに表現する活動を継続して取り入れる。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問8(2))の類似問題(第3学年11月)目標50%→結果0% (話すこと設問2の類似問題(第3学年11月)目標20%→結果0%)</p>

【来年度に向けて】

【国語】

【数学】

【英語】